

第9回奈良支部学術集会

学術集会会長：大和高田市立病院院長 砂川晶生



会場風景

2014年2月15日(土)、奈良県社会福祉総合センターを会場に、メインテーマを『医療の質を考える』とし、日本医療マネジメント学会第9回奈良支部学術集会を開催致しました。

特別講演は、聖路加国際病院の福井次矢先生をお迎えし、「医療の質を図り改善する－聖路加国際病院の経験と国内外の動向－」と題して、質指標(Quality Indicator)を使用した病院の医療の質改善の取り組みの現状についてご講演を頂きました。パネルディスカッションは、テーマを「医療の質と臨床評価指標の公表について」として、実績のある4病院からの経験を基に議論を深めて頂きました。また、一般演題は、口述発表39題、ポスター発表39題の計78題の発表があり、活発な討論が行われました。

前日の大雪で足元の悪い中にもかかわらず、388人のご参加を頂き、盛会のうちに無事学会を終了することが出来ました。これも、ひとえに、関係の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます、開催報告とさせていただきます。

第14回長崎支部学術集会

学術集会会長：日本赤十字社長崎原爆病院院長 朝長 万左男



会場風景

2014年2月22日(土)に「日本医療マネジメント学会第14回長崎支部学術集会」を長崎ブリックホール国際会議場にて開催しました。

今回は、「これからの医療安全と医療連携を

考える」をテーマとし、188名の方に参加いただきました。

プログラムは、特別講演1題、シンポジウム5題、一般講演38題、パネル展示5題の発表を行いました。

特別講演は東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座感染制御・検査診断学分野教授 賀来満夫先生をお迎えして、「迫り来る感染症の脅威：感染症クライシスへの対応－トータルマネジメント、ネットワーク・連携の重要性－」と題して、感染症の脅威に対し、いかにトータルマネジメントを実践していくべきなのか、ネットワーク・連携の重要性を含めて、わかり易くご講演を頂きました。

シンポジウムは、「医療安全について」と題して、5人の先生方に各施設での取り組みを講演していただき、最後

に会場の皆さんとディスカッションを行いました。

一般講演は、「医療安全」「医療の質・患者支援・入退院支援」「クリティカルパス分析」「組織運営・医療情報」について発表され、活発な討論や情報交換がなされました。

ご参加頂いた皆様のご協力とご支援により、今回の学術集会を無事に終えることができ、心より感謝を申し上げます、開催報告とさせていただきます。

第12回佐賀支部学術集会

学術集会会長：友朋会嬉野温泉病院理事長・院長 中川龍治



会場風景

2014年2月22日(土)に第12回佐賀支部学術集会を開催いたしました。今回は当嬉野温泉病院大ホール・小ホールで開催したため、会場へのアクセスや会場の狭さなど種々の

ご迷惑をおかけしたにもかかわらず、一般演題38題、学会参加約300余名といずれも過去最大規模で開催することができました。

今回は「患者・家族・社会が求める医療マネジメント」をメインテーマに行い、一般演題では地域医療連携に関する発表が多く、医療、社会のニーズを反映した学術集会となっていたようでした。また、今回はシンポジウムと特別講演を一体化して、テーマを「患者・家族が望む認知症地域連携のあり方」として行いました。基調講演として熊本大学精神神経医学教授 池田 学先生に「認知症地域連携－医療連携の視点から－」で御講演いただき、そして、急性期医療、地域医療、介護・福祉、ご家族の立場の4人のシンポジストの方々に現在の取り組みや今後の課題などについてご発表いただき、フロアの方々も含めての議論が深められたと感じています。発表された皆様のご協力ではほぼ定刻に終了することができました。

本学術集会の開催にあたり、ご協力と多大なご支援をいただいた関係各位に心より感謝申し上げます、開催の報告といたします。

第14回大分支部学術集会

学術集会会長：国東市民病院院長 初井眞二

2014年2月22日(土)第14回日本医療マネジメント学会大分支部学術集会を国東市民病院地域ふれあいホールにて開催致しました。テーマは「地域連携から広がる地域包括ケア」で、県内各地から約200名の参加をいただきました。

特別講演は香川県綾川町国保病院院長の大原昌樹先生に「医療機関と在宅・施設を結ぶ医療・介護地域連携パ